

製品名: PIXβ ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16172**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	80kDa

抗原情報

遺伝子名	ARHGEF7
別名	ARHGEF7; COOL1; KIAA0142; P85SPR; PAK3BP; PIXB; Nbla10314; Rho guanine nucleotide exchange factor 7; Beta-Pix; COOL-1; PAK-interacting exchange factor beta; p85
遺伝子 ID	8874.0
SwissProt ID	Q14155
免疫原	抗血清はヒト ARHGEF7 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 311-360

背景

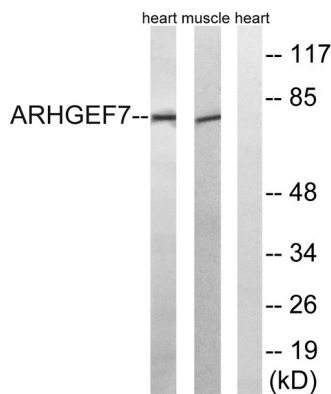
この遺伝子は、結合した GDP を GTP と交換することで Ras 様ファミリーの Rho タンパク質を活性化する細胞質タンパク質ファミ

リーに属するタンパク質をコードしています。この遺伝子は、小さな GTP 結合タンパク質 Rac1 と複合体を形成し、Rac1 を膜ラッフルおよび接着斑にリクルートします。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2016 年 3 月]、機能: RAC1 グアニンヌクレオチド交換因子 (GEF) として機能し、膜ラッフルを誘導することができます。類似性: 1 つの CH (カルポニン相同) ドメインを含みます。類似性: 1 つの DH (DBL 相同) ドメインを含みます。類似性: 1 つの PH ドメインを含みます。類似性: 1 つの SH3 ドメインを含みます。サブユニット: SH3 ドメインを介して PAK キナーゼと相互作用します。GIT1 および TGFB1I1 と相互作用する。ITCH と相互作用する (類似性による)。非リン酸化 PAK1 と相互作用する。

研究分野

アクチンダイナミクスの制御; AMPK

画像データ



ARHGEF7 抗体を用いたラット筋細胞およびラット心臓細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。